

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【公開番号】特開2017-57199(P2017-57199A)

【公開日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-178997(P2016-178997)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/436

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 31/10

A 6 1 K 47/10

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月23日(2019.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラパマイシンまたはその塩を有効成分として含有する角膜真菌症の予防または治療剤。

【請求項2】

ポリエチレングリコールを含有する、請求項1に記載の予防または治療剤。

【請求項3】

ポリエチレングリコールの濃度が80～99% (w/w)である、請求項2に記載の予防または治療剤。

【請求項4】

ポリエチレングリコールの濃度が90～98% (w/w)である、請求項2に記載の予防または治療剤。

【請求項5】

ポリエチレングリコールがポリエチレングリコール400である、請求項2に記載の予防または治療剤。

【請求項6】

エタノールを含有する、請求項2に記載の予防または治療剤。

【請求項7】

投与形態が結膜下投与である、請求項1に記載の予防または治療剤。

【請求項8】

投与剤型が注射剤である、請求項7に記載の予防または治療剤。

【請求項9】

投与形態が結膜下投与であり；

投与剤型が注射剤であり；

ラパマイシンまたはその塩の濃度が1～5% (w/w)であり；

エタノールおよびポリエチレングリコール400を含有し、ポリエチレングリコール400の濃度が90～98%（w/w）である、請求項1に記載の予防または治療剤。

【請求項10】

ラバマイシンまたはその塩の濃度が2～4%（w/w）であり；

エタノールの濃度が4%（w/w）であり；

ポリエチレングリコール400の濃度が92～94%（w/w）である、請求項9に記載の予防または治療剤。

【請求項11】

少なくとも5日以上の間隔で投与されるように用いられることを特徴とする、請求項1に記載の予防または治療剤。

【請求項12】

角膜真菌症の起因菌が、*Candida*属、*Fusarium*属、*Saccharomyces*属、*Penicillium*属および*Aspergillus*属からなる群より選択される少なくとも1種である、請求項1に記載の予防または治療剤。

【請求項13】

*Candida*属が*C. albicans*である、請求項12に記載の予防または治療剤。